

作文の部

仙石原小学校 五年 西村 侑嗣

住んで良し、働いて良し、訪れて良しの美しい箱根

澄みきった空気の中、鳥がさえずり、木の葉がそよ音の中で僕は目が覚める。こういう朝に起きると心がとてもすがすがしくなる。これは、この町「箱根」が自然豊かで、美しい自然環境に恵まれているからだ。箱根に住む人々は、多くの人にこうした朝を迎えたり、自然の恵みである天然温泉で体を休ませて欲しいと思ひ、箱根神社が建立した二六〇年前から国際的な観光都市として栄えてきた。だからこそ、この美しい自然環境を箱根を訪れる方々



にも知ってほしいし、今よりもっと美しく整えながら、守っていくことについて考えを深めて、自然愛護に対する気持ちを強めていってほしい。

箱根に住んだり、働いたりする方々が、ボランティア活動をしてくださっているからだと僕は思う。毎朝、晴れている暑い日も、雨でも、寒い日も、二人一組で国道一号線のごみ拾いを継続的にしてくださっている。このような活動をした結果、富士箱根伊豆国立公園と発展し、国際的な観光都市になってきた。箱根に住む多くの人は、国際的な観光都市を支えるために、ここで働いたり、僕達のように学校で勉強に励んでいるから

作文の部

函嶺百合学園中学校 一年 軽部 夏永

箱根にふれて

私は中学入学前の春休みに「赤毛のアン」を読みました。主人公のアンは喜怒哀楽がはっきりしている女の子です。自らの感情を回りの人に伝える力には、私は驚くばかりで

した。また特に、アンの想像力、発想力に魅力を感じました。頭上に白い花が咲き乱れている並木道を「飲びの白き道」、エゾマツ林は、「お化けの森」アンは、想像力、発

想力を活かして、場所に名前をつけるのです。このことが私はとても印象的でした。この四月私は箱根にある函嶺百合学園に入学しました。東海道、小田急線、箱根登山線を乗り継ぎ小田原から強羅の学校まで登校しています。始めの一週間は緊張と不安の中、やっと強羅まで辿り着いたというのが本心です。しかし、二週間目にもなると友人もでき、通学の緊張感が少しゆるんできました。また心のゆとりもでき、車内から外の景色を眺めるといふ余裕もできました。すると、湯本から一つ一つ駅を通り過ぎる度に景色が変わっていくことに気が付きました。湯本付近では線路脇の草花が美しく、塔の沢を過ぎると、早川と緑の調和を感じ、渓谷にかかる鉄橋を渡る電車に興奮します。そして急斜面をゆっくり登っていく電車の音も変化していくように聞こえるのです。山を登れば登る程、緑は濃くなり、終点近くになると、緑の間から光が差し込み、きらきらとした自然の緑を感じられるの



だきたいという思いが湧いてきます。そう思うたびに「私もアンと同じように豊かな創造力や発想力があれば、箱根の魅力が発信できるのではないか。」と思うのです。日本は二〇二〇年に東京オリンピックが開催されます。箱根は東京からも近く、日本有数の観光地です。これから

いう面では問題だと思えます。土をかぶった空き缶やペットボトル、ビニールは土に返ることなく環境汚染を引き起こすこととなります。これでは、環境先進観光地とは言えません。「ゴミを捨てづらい町、きれいな町であること」「箱根の住民や通学通勤している人が誇りを持つこと」このことが大事だと考えます。そして、環境先進観光地として箱根が世界中に知られたり、箱

根の自然を心や体で実感してもらえれば今以上のすてきな箱根になると思えます。私が、自慢したい風景は電車から眺める山々です。山は一色の緑でなくグラデーションを帯び、風が吹くとまるで波がおしよせてくるように思えます。箱根の自然に触れることで自然を大切にし、自らの心も豊かになると私は箱根に通学しはじめて知りました。

標語の部

湯本小学校 一年 岩瀬 嘉希

がっこうへいくみちの、まわりののはっぱがきれいだね。くうきがとつてもきもちいい。

です。私は、この時に、「赤毛のアン」を思い出しました。アンが世界一美しいといわれている、プリンス、エドワード島で感じた興奮を、私も通学時に感じられることに気付いたのです。素晴らしい自然を身近に感じ、これから学校生活を送ることができると感謝をしようと思いました。また、電車で通学していると、度々、観光客や外国人の方が、「どちらの中学校?」「何年生?」などと、声をかけて下さり、会話がはずむことも少なくありません。そんな時、私は箱根が日本中、いえ世界中から注目されていると改めて思い、箱根に通学している誇りと、箱根の良さをさらに多くの人に知っていた

リンピックが開催されます。箱根は東京からも近く、日本有数の観光地です。これからもっと多くの外国からのお客様も増えると思えますし、私も箱根の魅力発信していきたいと思っています。そのために私も自身が箱根の自然を守り、箱根をもっと知らなければなりません。箱根について色々調べてみると、箱根は、環境先進観光地を目指していることを知りました。毎日通っている中で景観を損う程ゴミが気になることはありません。しかし、学校行事で箱根散策をすると、芦ノ湖の遊歩道には年月が経っていると思われるゴミが、土をかぶり落ちていました。一見ゴミは見当たりますが、環境と



豊かな自然の中で私の心もこれから成長していけるのではないかと思っています。そして、創造力、発想力も育み、アンのようにお気に入りの場所を見つけ名前をつけたいです。私は、箱根に触れて、また一カ月です。箱根の知識は初心者です。でも、これから学校に通い、箱根の自然を感じることですばらしい自然と出会えるのではないかと考えると胸が高まります。そして、夏、秋、冬と季節が変わり、私の目に映る箱根も変化することでしょう。私の目に映った箱根を多くの人に発信し、多くの人に箱根のすばらしさを伝えられたらと思います。